

女体化怪談 鬼祥産屋

～フリーライター
景の雌墮ち綴記～



原作：馬耳エルフ 作画：れいとうみかん
製作協力：あむあいおかし製作所

今頃こんな
いい女になって
たんだらうな
やめ

困った。

俺、綱森景は
売れないオカルト
ライターだ

とは言え書いた記事の
ほとんどは採用されず
最近は無職同然の
生活を送っている

やっぱし
無計画で行動しても
上手くは行かないな

現状打破を誓い
遠い親戚の家に
転がり込んで

ある伝承を
調査していた

調べている
伝承の名前は

談 怪 化 体 女
鬼 祥 産 屋
〜フリーライター
景の雌堕ち綴記〜

原作：馬耳エルフ 作画：れいとうみかん
製作協力：あむおいおかし製作所

「鬼祥産屋」

鬼祥産屋とは
ある山陰地方に五百年ほど
前から伝わる民間伝承！

このテーマで世の
オカルトマニアが
驚くような記事を
書いてやろうと
現地に来たけど

収穫も進展も
ゼロ…

昔の思い出が夢に
出てきた時は天啓だと
思ったんだけどな

そこは鬼祥産屋の
跡地じゃけ
あっち行き。

近づいちゃ
いけん

男子は特に

手ぶらじゃ
帰れないぞ

明日こそ
何とかしないと

ハッ

どうだ
郷土資料の方は
順調か？

まあ
ボチボチかな

おじさんには
郷土館に寄贈する
資料作りの
ために来たと
嘘をついている

オカルト記事を
書くためなんて
言ったら白い目で
見られそうだし

それにしても
大人になったもんだ
背もこんなに高くなって

ちっさい頃に会ったきりの
親戚が突然訪ねてきた時は
何事かと驚いたぞ

まあじっくり
頑張れよ

そうも言って
られないよ
あと二、三日で
成果物を
上げないと…

くうっ…!?

ア
ア



んっ…!!

身体が痺れて
泡になるような
感覚…

あぁっ!?



ううう...

ま...

何が
起きたんだ？

ゆき

景！

鏡見ろ、
鏡！！

えっ

これ
俺なのか...？

嘘だろ...

俺、女に
なってる...!!

まさか
お前

鬼祥産屋の
跡地に
近づいたのか？



ゆき

ゆき

まさかお前が
鬼祥産屋について
調べてたなんてな

黙ってて
ごめん…

あれは村で伝わる
とびつきりの災厄の
象徴だな。

今じゃ知る人は
俺を含めて数える
ほどになったよ

えっ!?

おじさん
何か知ってるの?!

あ、ああ。

死んだ村の婆さんから
ガキの頃聞かされてな

頼む。

鬼祥産屋について
知ってること
教えてくれよ

うん

いずれにしても
鬼祥産屋の情報は
少しでも欲しい
ところだし

ひよっとしたら
元に戻る手がかかりが
掴めるかも

……

うん

うん

うん

うん

いいぞ。

知ってることは
全部教えてやる。
ただ謝礼はもらうぞ

…謝礼？

うん

うん

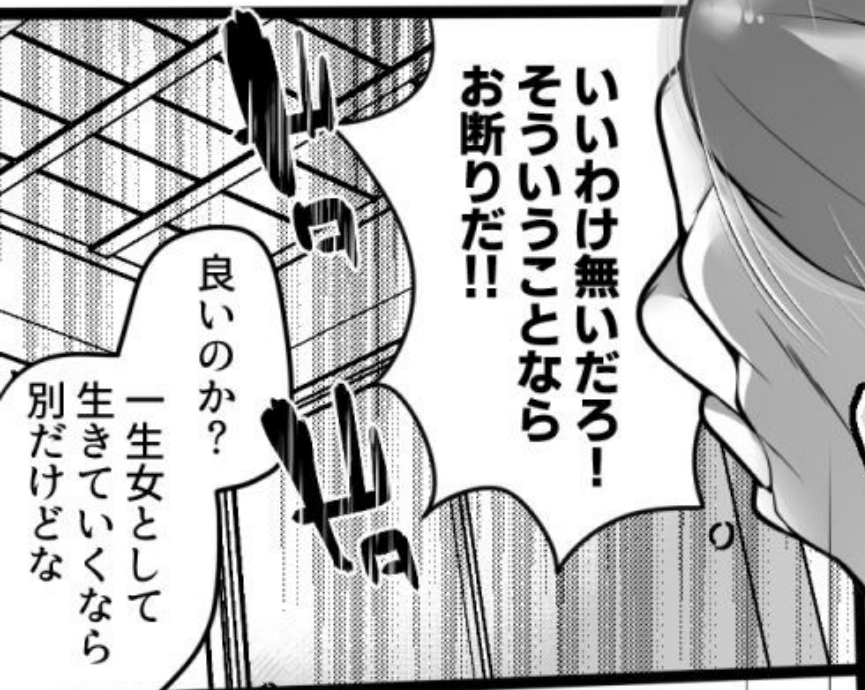


どわああ
あああっ!?

大げさだなあ。
ちよつと
乳揉んだだけで

な、な、何すんだ
このバカ!

村とびつきりの逸話を
特別に教えてやるんだ。
少しくらいサービス
してくれてもいいだろ



いいわけ無いだろ!
そういうことなら
お断りだ!!

良いのか?

一生女として
生きていくなら
別だけだな



くっ...



どわああ
あああっ!?



いい乳
してるなあ

こりや凄
い
揉み心地だ

んっ...!

ずっしりとして
弾力があって
たまらないな



我慢だ我慢...
話を聞くまでは
大人しく...



ひやわっ?!

おお、いい反応だな。
こりやあ
揉み甲斐がある

立派な女に
なったんだな

くっ、
んっ…

あー

女になっても
背は高くせに
体つきは華奢で
胸はご立派、

しかも…

ひゃわっ!?

くっ、

十二、

大きくて肉付きの
いい尻してるじゃ
ないか、最高だな

あっ…!

あー

あー

あー

このぞわっとした
変な感覚…!?

胸とはまた別の
嫌な感じが…

あー

あー

これだけの乳と尻を
併せ持った女はなかなか
お目にかかれないな

くっ、
んっ…!!

あー

あー



揉み心地の
確認はこれ
くらいにしてと

味も確かめ
させてもらうか

へ...?

すごいぞ景

こんなキレイな
美巨乳生まれ
初めて見る！



何考えてるんだ
このっ!!

そんな見事な
おっぱい
楽しませて
くれたら

鬼祥産屋の
こと教える
からさ、頼むよ

この野郎
人の足元
見やがって

でもここで断って
ヘソを曲げられ
でもしたら...

...や、約束
だからな



揉まれるより
吸われる方が
気持ちいいのか、

景ちゃんは
スケベだな〜

ちがつ、
こんなの
気持ち悪っ



やさしいー



ああああ
あああん!!

やさしい



出るわけ
ないだろ、
バカ!

ふん、



これだけ好きに
させたんだ。

教えろよ、
鬼祥産屋のこと



これだけ最高の
デカパイなら母乳も
出るかと期待したが

そこは
残念だったな



わかった。

いいか、
鬼祥産屋と
いうのはな

鬼祥産屋の
始まりは
520年前に遡る。

日本全域が
荒れてた時代だ。

特に村は
酷い荒れよう
だったらしいぞ。

度重なる飢饉や
山賊じみた連中の襲撃
果ては疫病まで蔓延してな。

仏様にどれだけ祈っても
凶事は尽きなかった。

そんな時に
旅の坊さんが
村に奇妙な産屋を
立てたんだ。

鬼の顔ををした
仏像が置かれた
小さな産屋だ。

追い詰められていた
村の連中は藁にも縋る思いで
祈りをその産屋の像に捧げた。

坊さんは
村人たちを集めて

「村
滅びに瀕せしと
断じた折は
神仏ならず
鬼に祈り候え」

と伝えて
姿を消した

そしたら不思議な
ことが起きた。

村の若い男の何人か
たいそうな美女に
なったらしい。

若い女は村にいない。
いたとしても野盗まがいの
連中に攫われている。

加えて飢饉と乱世で
身も心も逼迫状態。

当然どうなるか
俺達にも分かるよな？

女になった若い衆らは
村の男共の共有妻として
徹底して抱き尽くされた。

不思議なことに
女になった連中を
孕ませている間は
村に飢饉も訪れなかった。

盗賊どころか
ならず者すら寄り付かず
村は復興に向かった。

女になった村人が子を
沢山産んだおかげで
人口を増やした村は
滅亡の危機を脱した、

以上が
鬼祥産屋の逸話だ

待てよ！

鬼祥産屋で
女になった
連中はその後
どうなったんだ!!

さあ、推察するに
いったい赤ちゃん
産んで生涯を
終えたんじゃないか？

俺が男に戻る
手がかりなんて
出てこなかった
じゃないか!!

別に俺はお前が
男に戻る手がかりを
知ってるなんて
言った覚えは
ないぞ

そっちが勝手に
勘違いしておっぱいを
ちゅーちゅーさせて
くれたみたいだけどな

この
エロ親父！



くぐぐー!

華奢な癖に出る所は
出っ張ってる、

しかも…



ええええ
伝承に照らし
合わせたらだ

今のお前
産める体
なんだよな？

ひっ…

怖い、何
考えてるんだ
こいつ…

こんないい女
孕ませる機会なんて
今後もう無いよな



くそー！

この野郎!!
離れろっ！

孕む...? 妊娠...?
俺が子供を...!

くそー！
くそー！

んっ...



くそー！

くそー！
くそー！

くそー！

くそー！

仮にお前が
女として産まれて
今まですくすく
育ってたら

今頃こんな
いい女になって
たんだろうな

お前本当に
美人だな。

やめっ、
いやっ...

さあ、そろそろ
こっちも確認
させてもらうか

やめっ、

わあっ！

綺麗だ、
たまらん

これまでの
人生で見ただの
女の裸体よりも

うううううう
……

恥ずかしい……
どうして
こんな……





景っ!!

うわああ
ああああ!!

こんなに
濡れてる
じゃないか

ふあっ...

ああっ...



おっ
もうこんなに
湿ってるのか

準備は万端
みたいだな
じゃあ
いくぞ!

ズルズル

痛い
痛い
痛い!

ごめい

本当に俺
挿れられてる!?

待てっ、そんなんっ、
いやだっ、
いやだああああ!!

本物の女より
いい具合だ

くっ
凄いな

冗談じゃ
ない!

このままじゃ本当に
取り返しの
つかないことに...

ぬ

ぬ

ひぐっ!
まっ

くそっ!
頭がぼうっと
して体に力が...

まっ
やっぱりいい乳
してるな景

来年の今頃には
ここからたっぷり
ミルクが出るように
してやるからな

まっ
うんんっ!!

まっ
大きさも形も
触り心地も
舐め心地も極上だ

ミルク...!?

こいつ本当に
俺に子供を...!?

まっ
ああっ.....

まっ
ふんっ...

まっ
あ、あんっ!
ああっ!!

ふー出した
出した

それじゃ
第2ラウンド
といくか

えっ？

こりやいい
正面から抱くのと
一味違った気持ち
良さだ



お前の肉厚な
デカ尻が
腰に当たる感覚が
もうたまらんっ

やっ、
やめっ…

もうこれ以上
は、本当に…



よーし
いくぞ2発目!!

やめろお
おおお

考えように
よってはお前は
幸運かもな景

一昔前だったら
村の男の共有妻
だったんだからな

お前は
俺だけのもんだ

この日から俺の
人生は一変した

女の体のまま元の生活に
戻ることもできず

俺はこの地に留まり
男に戻るための
調査を続けた

村近辺に滞在場所の当ては無く
この家に身を置き続けるという事になった
あいつとひとつ屋根の下での生活…

ある時は宿代の代わりに
と言ってバニーガールの
恰好でやられた

また別の日は
風呂に押し入って
無理矢理に

そんな俺に
あいつの要求は日々
エスカレートしていった

こんなのどこで
買ったんだよ
くそっ…

いやー
背が高くて
スタイル抜群
だとお得だな
何を着ても
似合うじゃないか

じゃあエッチな
花嫁さん美味しく
食べちゃうとするか

待つ…

むぐっ!?

クモ
クモ

くっ、
んん…!

クモ
クモ

今日も調査は不発に
終わったみたいだな
いい加減 女として
生きる決心ついたか？

こうして毎晩エッチな
ことしてヨガってても
説得力ないぞ

ふざっ…けるなっ！
俺は男だっ！！

…ああんっ！

男に戻って必ず
とっちめてやるっ！！

ひやわっ…！！

あああんっ!!

ほーら
早く男に戻る方法を
見つけないとお母さん
になっっちゃうぞっ

やっ
やめてくれ…
頼む…

あーっ
あーっ
あーっ

あーっ
あーっ
あーっ

あーっ
あーっ
あーっ

あーっ
あーっ
あーっ

いやだっ

うわあああ

ああああ

これ以上
意地を張っても
仕方ないだろ

お前みたいなの
美人なら絶対幸せな
人生を送れるぞ

それに男に戻ったとして
どうするつもりだ
仕事だって全然上手く
いってないんだろ

俺の元で
子沢山ママに
なってくれよ

自分勝手な
ことばかり
言いやがって

結局は俺をモノに
したいだけじゃないか

悔しいけど
こいつの言葉を
完全に否定しきれない

男に戻ったって俺は
売れないライターなんだ
ならいっそのままで……

鬼産屋の 災禍

綱森景

累計150万部突破

おかーさん
お仕事
終わった？

うん
もう今日は
お終い

おとうさん
今日は早く
帰ってくるって

はいはい

男に戻れなかった俺は
やけっぱちになって
この一件を本にした

これが飛ぶ
ように売れた

売れないライターだった
男の頃より今のほうが
仕事は順調だ、何より

この子たちを育てる
母としての幸せを今は
噛み締めたいのだ



♂
主人公
♀



175252